

令和8年度工事更改契約調(9月分)

建設総務課 No 1

担当課	年 度	当初契約日	工 事 名	契 約 者 名	変更前設計金額	変更前請負代金額	変更後請負代金額	変更前工期	変更後工期	増減率	変 更 契 約 し た 理 由
	工 事 番 号	変更契約日			変更後設計金額		増 減 額	自～至	自～至		
道建設	令和 7 年度	R7.9.17	岡崎130号線橋梁下部工事その3	(株)中山建設	149,999,300	130,610,700	139,803,400	R7.9.18		7.04%	別 紙 の と お り
	第 115 号	R8.9.4			160,557,100		9,192,700	R8.12.21			
道建設	令和 8 年度	R8.5.20	有本中島線有本交差点改良工事その2	(株)中野建設	19,196,100	17,583,469		R8.5.21	R8.5.21		別 紙 の と お り
	第 1 号	R8.9.16						R8.9.27	R8.11.26		
公園	令和 8 年度	R8.6.4	西庄公園フェンス撤去更新工事その3	(有)山健重機整備	8,871,500	7,958,808	8,307,200	R8.6.5		4.38%	別 紙 の と お り
	第 52 号	R8.9.29			9,260,900		348,392	R8.10.12			
道建設	令和 8 年度	R8.6.4	今福神前線道路改築工事その15	(株)丸和商会	19,965,000	18,216,880	21,579,800	R8.6.5	R8.6.5	18.46%	別 紙 の と お り
	第 55 号	R8.9.18			23,651,100		3,362,920	R8.9.27	R8.12.26		
教施設	令和 8 年度	R8.6.15	東中学校教室床改修工事	山下建設(株)	11,220,000	10,296,083	10,729,400	R8.6.16		4.21%	別 紙 の と お り
	第 60 号	R8.9.1			11,693,000		433,317	R8.10.13			

年 度	令和 7 年度
工 事 番 号	第 2 5 0 0 0 1 1 5 号
工 事 名	岡崎 1 3 0 号線橋梁下部工事その 3
変更後の工事場所	
変更後の工事概要	橋台工 一式 (鋼管杭 製作・搬入 N=20本) 護岸工 一式 (嵩上コンクリート L=25m) 仮設舗装工 520m2 仮設工 一式
変 更 の 理 由	本工事において、当初設計では未舗装の仮設道を当初 予定より長期間使用する見通しとなったことから、仮設 道に舗装を施工したことにより増工となった。また、警 察関連施設の家屋調査を実施することとなったことから 増工となった。

年 度	令和 8 年度
工 事 番 号	第 2 6 0 0 0 0 0 1 号
工 事 名	有本中島線有本交差点改良工事その 2
変更後の工事場所	
変更後の工事概要	道路土工 一式 舗装工 403m2 排水構造物工 一式 （函渠側溝 32m、集水桝 2箇所、重圧管 16m） 路側工 一式 （歩車道ブロック 34m） 構造物撤去工 一式 付帯工 一式
変 更 の 理 由	警察との協議が未成立であった S システム（交通情報収集システム）について、移設する必要が生じ、協議・調整に日数を要したため。

年 度	令和 8 年度
工 事 番 号	第 2 6 0 0 0 0 5 2 号
工 事 名	西庄公園フェンス撤去更新工事その 3
変更後の工事場所	
変更後の工事概要	公園土工 一式 公園施設等撤去・移設工事 一式 管理施設整備工 一式
変 更 の 理 由	支障木の剪定の追加 各種数量の精査

年 度	令和 8 年度
工 事 番 号	第 2 6 0 0 0 0 5 5 号
工 事 名	今福神前線道路改築工事その 1 5
変更後の工事場所	
変更後の工事概要	道路土工 1 式 排水構造物工 L=245m 構造物撤去工 1 式 付帯工 1 式 仮設工 1 式
変 更 の 理 由	自由勾配側溝設置にあたり、既存地下埋設物が支障となることが判明したため、支障移設を行う必要が生じた。 また、既存地下埋設物の支障移設に伴う施工調整に時間を要し、工期内の完成が難しいため、80日間の工期延長を行う。

年 度	令和 8 年度
工 事 番 号	第 2 6 0 0 0 0 6 0 号
工 事 名	東中学校教室床改修工事
変更後の工事場所	
変更後の工事概要	■教室床改修工事 (対象施設) 東中学校・・・5 教室 (工事内容) 教室フローリング床材張替・・・一式 白蟻防蟻処理・・・一式
変 更 の 理 由	・ 1 階の 2 教室において、既存大引に白蟻による著しい食害、腐食が確認され、床の耐久性及び品質確保を考慮し、大引を取替したため。 ・ 1 階の 1 教室において、既存大引を撤去したところ、土間に不陸があることが確認され、モルタルによる高さ調整を行ったことによる増工のため。